

1. 学校の教育目標

「わが学園は、教育を通して「努力心」「誠実心」「独立心」を養い、平和社会の建設に貢献する人間を育成することを使命とする」との学園建学の精神（教育理念）に基づき、3つの心「努力心」「誠実心」「独立心」を養い、平和裏に日本社会で堂々と働くことのできる人材を輩出すること、そのために全教職員が全力でその進路実現を支援することを目標とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・YB校・K校及びNN校の募集、運営状況を把握し協力体制を構築する。
- ・本部と各校との三位一体での運営
- ・キャリアサポートに関し、学生を受け持つ学校及び担任を主幹とし本部と連携
- ・人事異動による組織力強化
- ・目標とする人材像に向けての教育
 - 個々の学生の進路実現
 - 入口から出口までの流れの充実・向上
- ・2025年10月期で次年度定員の充足達成
- ・学生の就職見込と進学見込の維持（進路見込）
 - 就職見込率70%以上
 - 校内企業ガイダンス20社以上
- ・学校教育法改正に伴うカリキュラム変更・学則変更等の対応

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標	委員の評価	B
評価項目		
・学園の建学の精神、教育テーマが教職員に浸透しているか		
・学校の理念、目標・育成人材像を定めているか		
・学校の理念、目標・育成人材像およびその関連性を教職員が理解しているか		
・目標とする育成人材像に合わせ、学科ごとに特色ある教育活動に取り組んでいるか		
・各学科の教育目標、育成人材像は、関連する業界ニーズに適合しているかの再考がされているか		
・学校の理念、目標・育成人材像が、学生に周知されているか		

①課題

学園の建学の精神や教育テーマについては、概ね教職員に浸透しているものの、理解度には個人差が見られる。また、学校の理念・目標・育成人材像についても共有はされているが、日常の教育活動や各学科の取組との具体的な関連付けについて、十分に意識されていない場面もある。

更に、学生への周知については入学時のオリエンテーション等で説明しているものの、在学期間を通して継続的に意識付けを行う機会が十分とは言えない。

学生の目指すべき人材像を教員が学生にどのように伝えて、目標を持たせるかが十分とは言えない。

②今後の改善方策

教職員に対しては、年度当初の研修や会議等を通じて建学の精神、教育理念、育成人材像の再確認を行い、教育活動との関連性を具体的に共有する。また、学科ごとの教育目標と業界ニーズの整合性について、定期的に見直しを行う体制を維持する。

学生に対しては、オリエンテーションのみならず、授業や学校行事、キャリア教育等の機会を通じて、学校の理念や目標、育成人材像を繰り返し説明し、理解を深める取組を継続する。定期的な面談や日常の指導の中で、将来を考えられるような声掛けなどを行っていく。

1,2年生の交流を増やし、1年生には先輩の姿を見せ、2年生には後輩に見られているという意識を持たせることも必要。

③特記事項

各コースにおいては、地域連携や産学連携の取組、実践的な授業を通じて、目標とする人材像の育成に向けた教育活動を積極的に展開している。業界との連携や地域課題をテーマとした教育実践を進めることで、社会のニーズに対応した人材育成を図っている。

(2) 学校運営	委員の評価	B
----------	-------	---

評価項目
・理念（建学の精神）等に沿った運営方針を定めているか
・理念（建学の精神）等に沿った事業計画を定めているか
・学生数（あるいは受け入れる学生の言語数）に応じた組織体制になっているか
・規程やマニュアルが整備され、組織運営が適切に行われているか
・人事、給与に関する規程等を整備しているか
・指示命令系統が明確であり、意思決定システムが機能しているか
・固定資産、備品等の購入、管理が制度に基づき適切に行われているか
・シラバス等、教育活動等に関する情報公開を適切に行っているか
・情報システム化等により業務の効率化を図っているか
・運営や教育活動に必要な情報を教職員間で共有する仕組みがあり、機能しているか
・学校の短期および中長期目標が教職員に周知されているか

①課題

学校運営については、建学の精神や理念に基づいた運営方針および事業計画が策定され、概ね適切に運用されている。一方で、学生数や受入言語の多様化に伴い、組織体制や業務分担については一部で負担の偏りが見られる。
更に、各種規程やマニュアルは整備されているものの、実務における参照や活用の頻度には差があり、より実効性の高い運用が求められる。

②今後の改善方策

学生数や教育内容の変化に対応した組織体制の見直しを継続的に行い、業務分担の適正化を図る。また、人事・給与規程や各種規程については、所管部署と連携・調整を図りながら、教職員への周知機会の確保や必要に応じた改訂、説明会の開催等について依頼していく。
指示命令系統については、会議体や報告ルートを明確化するとともに、情報共有の仕組みを活用し、意思決定から実行までの流れをより円滑にする。
併せて、マニュアルや規程についてはデータ化および共有化を進め、教職員が必要な時に容易に参照できる環境の整備を進める。

③特記事項

学校の理念に基づいた運営方針および事業計画が明確に定められており、教育活動および学校運営に反映されている。また、情報システムの活用による業務効率化や教育情報の公開を積極的に進めており、教職員間の情報共有体制も概ね機能している。今後も組織体制の改善と業務の効率化を図りながら、安定した学校運営を継続していく。

(3) 教育活動	委員の評価	B
評価項目		
・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等を定めているか		
・修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか		
・教育目的・目標に沿ったカリキュラム編成になっており、目標達成に必要な学修時間を確保しているか		
・教育目標に合致した教材が選定されているか		
・教育内容、教育方法について教員間で共通理解が得られているか		
・シラバスを学生に開示（または学習計画を提示）し、開示したシラバスに沿って授業を展開しているか		
・授業報告、出席状況を正確に記録し、見直すことができる体制を整えているか		
・キャリア教育・支援を実施しているか		
・教育システムの見直しを定期的にかけており、改善行動がなされているか		
・インターンシップ、実技実習等に関する定めがあり、体系的に実施しているか		
・授業アンケートを実施し、評価・フィードバックを行っているか		
・教員の指導力向上のための取り組みを行っているか		
・成績評価・単位認定の基準を定めているか		

・成績評価基準を学生に予め提示し、評価基準に沿った評価を行っているか
・進級要件、卒業要件を明確に定めているか
・目標とする資格（免許）を、カリキュラムの中で明確に位置付けているか
・資格（免許）取得の指導体制が整っているか
・資格・要件を満たした教員を確保しているか
・教員の能力開発、指導力育成、資質向上のための取組み（研修等）を行っているか

①課題

教育理念に基づいた教育課程の編成やカリキュラム運用は概ね適切に行われており、教育目標に沿った授業運営が実施されている。一方で、教材の選定やシラバスに基づく授業運営、授業報告・出席管理の記録体制、インターンシップ等の実習の体系化、授業アンケートの活用など、一部において運用の統一やさらなる改善の余地がある。
また、教員の資格要件の充足や指導力向上のための研修機会の確保についても、教育内容の高度化や多様化に対応するため、継続的な体制整備が求められる。

②今後の改善方策

教材選定や授業運営について教員間での情報共有をより強化し、シラバスに基づいた授業実施の徹底を図る。また、授業報告や出席状況の記録については、管理方法の統一やシステム活用を進め、教育活動の見直しに活用できる体制を整備する。
インターンシップや実技実習については、教育課程の中での位置付けを明確にし、体系的な実施を進める。
更に、授業アンケートの結果を教育改善に活用するとともに、教員研修や外部研修への参加を促進し、教員の専門性および指導力の向上を図る。

③特記事項

教育理念および教育目標に基づいたカリキュラム編成が行われており、資格取得を教育課程の中に明確に位置付けた指導体制を整備している。キャリア教育や資格取得支援、実践的な授業を通じて、学生の専門性と職業意識の向上を図る教育活動を実施している。
また、授業アンケートや教育内容の見直しを通じて、教育の質の向上に向けた継続的な改善に取り組んでいる。

(4) 学修成果	委員の評価	B
評価項目		
・学生の自己評価（PA等）を実施しているか	※PA・・・パフォーマンスアセスメント	
・卒業後の進路を把握しているか		
・進路達成（就職率・進学率）の向上が図られているか		
・進路達成（就職率・進学率）の評価を行い、改善を図る取組みを行っているか		
・検定合格、資格取得、免許取得の状況を把握しているか		
・資格・免許取得率の向上が図られているか		
・（成果発表を含め）学習成果を学外に対して示しているか		
・評価判定基準及び判定方法を学生に開示しているか		
・進級・卒業判定のための会議を設けているか		
・卒業生のキャリア形成、社会的な活躍や評価を把握しているか		

①課題

学生の自己評価（PA等）の実施や進路状況、資格取得状況の把握については概ね適切に行われているが、自己評価結果や進路達成状況の分析を教育改善に十分活用する仕組みについては、さらなる充実が求められる。
また、評価判定基準や判定方法の学生への周知についても実施しているものの、理解の浸透という点では改善の余地がある。加えて、卒業生のキャリア形成や社会的評価については把握を行っているが、継続的かつ体系的に情報収集する体制の強化が必要である。

②今後の改善方策

学生の自己評価（PA等）や進路達成状況、資格取得状況について、結果の集計・分析を行い、教育内容や指導方法の改善に活用する仕組みを強化する。
また、評価基準や判定方法については、シラバスやオリエンテーション等を通じてより丁寧な説明を行い、学生の理解促進を図る。
更に、卒業生の進路状況やキャリア形成について、同窓会や企業との連携を通じて情報収集を行い、教育成果の検証および教育内容の改善に活かしていく。

③特記事項

就職支援や資格取得支援を通じて、進路達成率および資格取得率の向上に取り組んでいる。また、成果発表や作品展示、研究発表等を通じて学習成果を学外に発信し、学生の学習意欲向上と教育成果の社会への発信を図っている。
 加えて、進級・卒業判定については判定会議を設け、公正かつ適切な評価を行う体制を整備している。

(5) 学生支援	委員の評価	B
評 価 項 目		
・進路指導（就職・進学）に関する支援体制は整備されているか		
・生活指導担当者を適切に配置し、学生及び教職員に周知しているか		
・進学、就職に係る資料を学生が閲覧できる環境を整えているか		
・留学生生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施しているか		
・日本社会（文化）を理解し、適応するための取組みを行っているか		
・学生定期面談を計画・実施しているか		
・学生が適宜相談に来られる体制を整えているか		
・欠席が多い、学習態度不良の学生に対し早期のフォローがなされているか、その仕組みがあるか		
・気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知しているか		
・休日及び長期休暇中、災害など緊急時に学生と連絡を取る手段があり、対応が可能か		
・退学率の低減が図られているか		
・学生の生活状況を定期的に把握し、相談にのる等の支援をしているか		
・健康診断を定期的に実施しているか		
・避難訓練を定期的に実施しているか		
・防災用品が備蓄されているか		
・学生寮の設置、不動産会社紹介などの生活環境支援体制を整備しているか		
・保護者（留学生は送り出し機関や母校）と適切に連携しているか、その体制があるか		
・卒業生への支援体制があるか		
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか		

①課題

学生支援体制については、進路指導、生活指導、相談体制、安全対策など概ね適切に整備されている。一方で、進路指導体制の更なる充実や、避難訓練の実施方法、保護者（留学生の場合は送り出し機関等）との連携、卒業生への継続的な支援体制については、より体系的な取組が求められる。

また、学生の多様化に伴い、学習面・生活面の課題を抱える学生への早期対応や、個別支援の充実についても継続的な改善が必要である。

②今後の改善方策

進路指導については、企業情報や進学情報の提供を充実させるとともに、個別面談やキャリア指導を通じて学生の進路実現に向けた支援体制を強化する。

また、避難訓練や防災対策については、実施内容の見直しや定期的な訓練の実施により、防災意識の向上を図る。

保護者や送り出し機関との連携については、定期的な情報共有や連絡体制の強化を図り、学生支援に活かす。

更に、卒業生に対しても情報提供や相談対応等を通じて、キャリア形成の支援につながる体制の検討を進める。

③特記事項

定期面談や日常的な相談対応を通じて、学生の学習状況や生活状況の把握に努めており、欠席が多い学生や学習面に課題を抱える学生に対しては早期のフォローを行っている。

また、留学生に対しては入学時オリエンテーションや日本社会・文化理解に関する取組を実施し、学校生活への適応を支援している。

加えて、健康診断や防災対策、住居支援など、学生が安心して学習に取り組める環境整備を行っている。

(6) 教育環境	委員の評価	A
----------	-------	---

評価項目
・校地・校舎面積は、専修学校設置基準に適合しているか
・教育上の必要に十分対応した施設・設備、教具、備品等を整備しているか
・教室内は十分な照度があり、換気がなされているか
・視聴覚教材を使用可能な設備があるか
・学外での実習、インターンシップ等の実施体制を整備しているか
・防災に対する体制を整備し、組織として対応が可能な状態か
・学内施設・設備の点検を定期的に行い、安全の確保に努めているか

①課題

教育活動に必要な施設・設備、教具、備品等については概ね整備されており、教育環境は適切に維持されている。一方で、教育内容の高度化や多様化に対応するため、設備や教具の更新、充実については継続的な検討が必要である。
 また、学外実習やインターンシップについては実施体制を整えているものの、受入先の確保や実施方法の体系化について、更なる充実が求められる。
 加えて、防災体制については整備を進めているが、訓練やマニュアルの確認など、組織としての対応力向上に向けた継続的な取組が必要である。

②今後の改善方策

教育内容に応じた施設・設備、教具等の計画的な整備および更新を進め、教育環境の充実を図る。
 また、学外実習やインターンシップについては、企業・関係機関との連携を強化し、教育課程の中での位置付けを明確にししながら、実施体制の充実を図る。
 防災体制については、定期的な点検や訓練の実施、教職員への周知を行い、緊急時に適切に対応できる体制の強化を図る。

③特記事項

教室の照度や換気など学習環境の維持に努めるとともに、視聴覚教材を活用できる設備を整備し、教育活動に活用している。
 また、施設・設備については定期的な点検を行い、安全な教育環境の確保に努めている。加えて、防災対策についても備品の整備や体制の構築を進め、安心して学習できる環境づくりを行っている。

(7) 学生の受け入れ募集	委員の評価	A
評価項目		
・機関の設置者、教育内容、進路等の情報をホームページ等で公開しているか		
・入学選考料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、学費以外に必要な費用を明示しているか		
・入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っているか		
・希望者に対し、学校見学・説明対応を適切に行っているか		
・募集定員を定め、その情報を公開しているか		
・公開されている情報が見やすく最新のものに更新されているか		
・入学希望者やその関係者に理解できる言語での情報提供を行っているか		
・教育目標に合致した募集計画を立案し、募集地域や対象者を定めて募集活動を行っているか		
・受け入れるコースの教育内容と入学希望者のニーズが合致していることを確認しているか		
・入学選考基準を明確に定め、適切に運用しているか		
・入学志願者学習能力、学習意欲、日本語能力等を面接を含む適切な方法で確認しているか		
・選考に必要な情報を提供してもらい、提出された根拠資料を確認しているか		
・入学選考結果を入学後の学生指導、授業改善等に活用しているか		
・進路実現実績、学生満足度に対し、学納金は妥当なものとなっているか		

①課題

学校の設置者情報、教育内容、進路実績、学費等の情報についてはホームページ等を通じて公開しており、入学希望者への情報提供体制は概ね整備されている。一方で、入学希望者やその関係者が理解しやすい言語による情報提供や、海外からの志願者への対応については、さらなる充実が求められる。

また、公開している情報の見やすさや更新頻度についても継続的な確認が必要である。加えて、学納金については教育内容や進路実績とのバランスを踏まえ、適切な水準となるよう検証を続ける必要がある。

②今後の改善方策

ホームページや募集資料については、定期的な内容確認と更新を行い、入学希望者が必要な情報を分かりやすく取得できるよう改善を進める。
 また、外国人留学生を含む多様な入学希望者に対応するため、複数言語での情報提供や説明機会の充実を図る。
 更に、入学選考において得られた情報を入学後の学生指導や教育内容の改善に活用し、教育目標に合致した学生募集と教育の質の向上を図る。

③特記事項

学校ホームページや学校説明会、個別相談等を通じて、教育内容や進路実績、学費等の情報を適切に公開し、入学希望者に対する情報提供を行っている。
 また、入学選考においては学習能力、日本語能力、学習意欲等を面接や提出書類を通じて確認し、教育目標に沿った学生の受け入れを行っている。さらに、学校見学や説明対応を随時実施し、入学希望者が学校の教育内容を十分に理解できるよう努めている。

(8) 財務	委員の評価	B
評価項目		
・中長期的に学校の財務基盤は安定し、教育活動の継続が可能な状況を言えるか		
・単年度予算、中期計画を策定しているか？		
・予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか		
・予算及び計画に基づき、適正に執行・管理しているか		
・適正な会計監査が実施されているか		
・財務情報公開の体制整備はできているか		

①課題

少子化が進む中で、中長期的にも安定的に学生募集を継続する新たな方策が必要。
 予算管理の効率化を図る。

②今後の改善方策

幅広い国や地域からの学生募集の強化（海外募集）を進める。
 学生から選ばれる学校として継続していけるよう、教育の質の維持また向上の検討を強化する。
 DX化を進める。

③特記事項

公認会計士事務所による監査を受けている。
 財務情報の公開可能な体制を整えている。
 予算計画に基づく、予算執行が適切に行われている。

(9) 法令等の遵守	委員の評価	A
評価項目		
・法令、専修学校設置基準等の遵守し、適正な学校運営を行っているか		
・個人情報保護のための対策を実施しているか		
・出入国在留管理庁ほか関係官庁等への提出、報告を遅滞なく行っているか		
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか		
・自己評価結果を公開しているか		
・学校関係者評価の委員会を組織し、評価を行っているか		
・学校関係者評価を公表しているか		
・学校ホームページに「情報公開」を適切に掲載しているか		
・アルバイト先、稼働状況を定期的に把握し、法令順守の指導を行っているか		
・在留に関する学生の最新情報を把握しているか		

・在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか
・教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っているか

①課題

法令および専修学校設置基準等を遵守した学校運営は概ね適切に行われているが、教職員のコンプライアンス意識のさらなる向上や、情報公開ページの見やすさ・更新状況の確認については継続的な改善が求められる。
 また、留学生に関する在留管理やアルバイト状況の把握については実施しているものの、法令遵守の観点から継続的な指導および管理体制の強化が必要である。

②今後の改善方策

法令遵守およびコンプライアンスに関する教職員への周知や研修機会を設け、意識の向上を図る。
 また、学校ホームページにおける情報公開については、掲載内容の整理および定期的な更新を行い、外部からも分かりやすい形での情報提供に努める。
 留学生の在留状況やアルバイト状況については、定期的な確認を継続するとともに、必要に応じて個別指導を行い、関係法令の遵守について学生への指導を徹底する。

③特記事項

関係法令および専修学校設置基準等に基づき、適正な学校運営を行うとともに、出入国在留管理庁をはじめとする関係機関への報告・届出を適切に実施している。
 また、自己評価および学校関係者評価を実施し、その結果を公表することで教育活動および学校運営の改善に取り組んでいる。さらに、留学生の在留状況やアルバイト状況の把握を行い、適切な指導・管理に努めている。

(10) 社会貢献・地域貢献	委員の評価	A
評価項目		
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか		
・学生のボランティア活動を奨励し、活動への参加を支援しているか		
・地域交流や地域活動を実施しているか		
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか		

①課題

根室振興局および根室教育局との包括連携協定に基づき、出前授業や教員研修、公開講座等の地域貢献事業を継続的に実施しているが、講座の依頼や実施内容については個別対応となる場合もあり、体系的な取組として整理することが課題である。
 また、学生ボランティア活動についても、活動機会の情報収集や参加状況の把握を行い、教育活動との連携をより明確にしていく必要がある。

②今後の改善方策

講座の依頼や実施については、根室振興局および根室教育局を通じて調整を行う仕組みを整え、地域の教育ニーズを踏まえた計画的な実施を図る。
 これにより、単発的な出前授業にとどまらず、根室管内の児童生徒の情報技術に関する理解や技能の底上げにつながる体系的な取組として展開していく。
 また、学生ボランティア活動については、地域からの情報収集と学生への周知を行うとともに、活動内容の把握を進め、教育活動との連携を図りながら学生の社会参加意識の向上につなげていく。

③特記事項

根室振興局および根室教育局と令和6年3月13日付で包括連携協定を締結し、根室管内の小学校を中心とした出前授業の実施や教員研修への協力、公開講座等の地域貢献活動を継続的に実施している。
 これらの活動を通じて、地域の教育機関との連携を深めるとともに、学校の教育資源を地域社会に還元する取組を推進している。
 また、学生ボランティア活動の支援を通じて、地域社会との関わりを通じた学生の社会性の育成にも取り組んでいる。

(11) 国際交流	委員の評価	B
評価項目		
・留学生の受入れを戦略的、組織的に行っているか		
・留学生の受入れ、在籍管理を適正に行っているか		
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか		

・入管法上の留意点について学生へ伝達、指導等を定期的に行っているか
・学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか（発信しているか）
・留学生在籍部門に関し、出入国在留管理局から「適正校」の認定を受けているか
・不法滞在者等を発生させないための取組み・指導を継続的に行っているか

①課題

留学生の受入れや在籍管理、学修・生活指導体制については概ね適切に運用されているが、出入国在留管理庁における「適正校」の認定については現時点で認定に至っておらず、認定取得に向けた体制整備が課題である。
 また、不法滞在や資格外活動違反等を防止するための指導については実施しているものの、アルバイト状況の把握や在留資格に関する理解促進について、継続的かつ組織的な取組を強化していく必要がある。

②今後の改善方策

留学生の受入れや在籍管理、学修・生活指導体制については概ね適切に運用されているが、出入国在留管理庁における「適正校」の認定については現時点で認定に至っておらず、認定取得に向けた体制整備が課題である。
 また、不法滞在や資格外活動違反等を防止するための指導については実施しているものの、アルバイト状況の把握や在留資格に関する理解促進について、継続的かつ組織的な取組を強化していく必要がある。

③特記事項

留学生の受入れにあたっては、学習能力、日本語能力、学習意欲等を確認した上で適切に選考を行い、入学後は学修面および生活面の両面から支援体制を整備している。
 また、入管法に関する指導や在留状況の把握を継続的に行い、不法滞在者の発生防止に努めている。加えて、学生の学習成果については発表や作品制作等を通じて学外へ発信し、教育成果の社会への周知にも取り組んでいる。

※ 各評価項目における評価点（「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」）

その平均値（小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示）を以下の基準により表示した

評価	基準
A	4.0 ～ 3.5
B	3.5未満 ～ 3.0
C	3.0未満 ～ 2.5
D	2.5未満

評価者：岩谷学園ひがし北海道IT専門学校教職員

（評価期間：2025年4月1日～2026年3月31日）